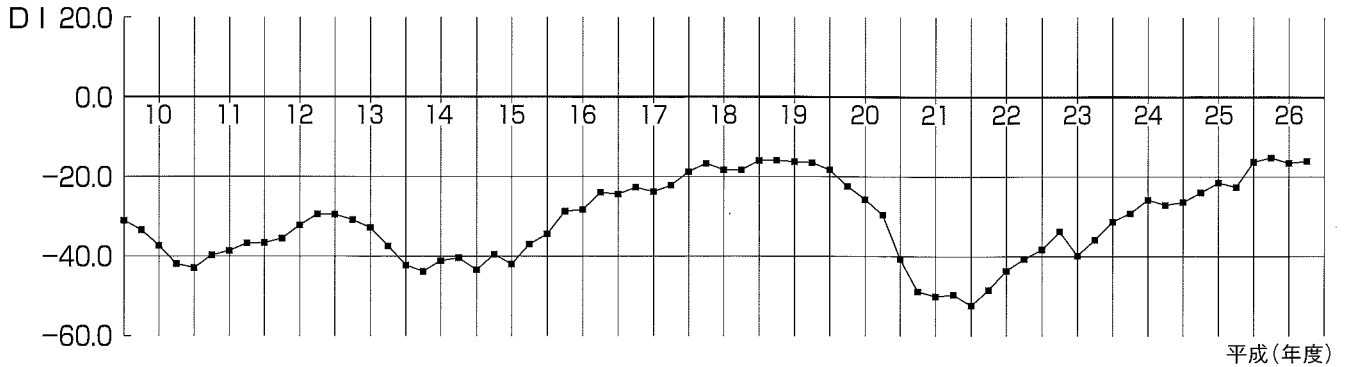


## 都内中小企業景況・6業種合計



業況判断DI(季節調整済、「良い」企業割合-「悪い」企業割合)は-16.1(前期は-16.6)と前期に比べ0.5ポイント改善した。業種別に見ると、建設業でやや好感が強まり、卸売業で若干悪化幅が縮小した。

来期は卸売業、小売業、サービス業で厳しさが和らぐと予想している。

	前期	今期	増減	来期予想	今期との増減
製造業	-16.8	-15.8	1.0	-14.4	1.4
卸売業	-17.9	-16.2	1.7	-12.7	3.5
小売業	-30.9	-31.4	-0.5	-29.4	2.0
サービス業	-16.5	-16.3	0.2	-12.3	4.0
建設業	6.8	8.3	1.5	9.7	1.4
不動産業	-3.2	-4.2	-1.0	-3.7	0.5
総合	-16.6	-16.1	0.5	-13.8	2.3

### ●製造業

業況は前期同様の厳しさが続いている。売上額・受注残・収益は水面下ながら減少幅・減益幅がわずかに縮小した。

価格面では、販売価格は前期同様の低下基調で推移し、原材料価格は前期並の上昇が続いている。

業種別に見ると、「木材・家具」は水面下ながら大きく改善し、「電気機械」「建設用金属」「精密機械」「一般機械」「プレス・メッキ」「紙・紙加工品」は悪化幅がやや縮小し、「輸送用機械」はわずかに好転した。一方、「化学工業」は水面下に大幅に落込み、「ゴム製品」「皮革関連」は悪化傾向がかなり強まった。

来期の業況は悪化幅が縮小すると予想している。売上額は減少が一服し、受注残・収益は今期同様の減少幅で推移するものとみている。

### ●卸売業

業況は、わずかに厳しさが和らいだ。売上額・収益はともに前期並の減少が続いた。

価格面では、販売価格は幾分上昇幅が縮小し、仕入価格は前期並の上昇が続いた。

業種別では、「機械器具」「鉱物・金属材料」は大幅に厳しさが和らぎ、「化学製品」「食料品・飲料品」は若干悪化幅が縮小した。一方、「建築材料」はやや低調感を強めた。

来期の業況は、水面下ながら上向くと予想している。売上額・収益はともに減少幅・減益幅が縮小するものとみている。

### ●小売業

業況は、前期同様の厳しさが続いた。売上額・収益はともに前期同様の減少幅・減益幅で推移した。

価格面では、販売価格・仕入価格はともに多少上昇幅が縮小した。

業種別では、「スポーツ用品・玩具」は大きく悪化幅が縮小し、「飲食店」「家具・建具・じゅう器」は水面下ながら若干上向いた。一方、「ガソリンスタンド・燃料」「繊維・衣服・身の回り品」はわずかに悪化が強まり、「書籍・文具」は大きく業況感が落込んだ。

来期の業況は、悪化幅が縮小するものと予想している。売上額・収益はともに減少が一服するものとみている。

### ●サービス業

業況は前期同様の厳しさが続いた。売上額・収益は前期同様の減少が続いた。

価格面では、料金価格はやや上昇幅が縮小し、材料価格は若干落着きを見せた。

業種別に見ると、「情報サービス・調査・広告」は幾分明るさが見え、「洗濯・理容・美容」は多少厳しさが和らぎ、「自動車整備・駐車場」はかなり厳しさを増した。

来期の業況は水面下ながら上向くと予想している。売上額・収益はともに減少幅・減益幅が縮小するとみている。

### ●建設業

業況は前期並の好感が続いた。売上額・施工高は前期同様の増加が続き、受注残は若干増加傾向が一服した。収益はやや強含んだ。

価格面では、請負価格は前期並の上昇が続き、材料価格はやや上昇傾向を強めた。

業種別に見ると、「職別工事」「総合工事」はやや好感が強まり「設備工事」は多少前期を下回った。

来期の業況は好調感が強まると予想している。売上額・受注残・施工高は伸び悩み、収益は今期同様の水準で推移するとみている。

### ●不動産業

業況は前期並の悪化幅で推移している。売上額・収益はともに減少幅・減益幅が幾分拡大した。

価格面では、販売価格は変動なく推移し、仕入価格はわずかに落着きを見せた。

業種別に見ると、「建売・土地売買」は好調感が大きく強まった。「不動産代理・仲介」は幾分厳しさが増した。

来期の業況は、今期同様変化なく推移するものとみている。売上額・収益は回復の兆しがみられると予想している。